



妻西中キャラ めにしちゃん

# 学び磨き鍛える

正しい判断力とたくましい実践力を  
もった妻沼西中生を育む学校

発行 熊谷市立妻沼西中学校  
電話 048(588)1361  
FAX 048(589)0496  
令和8年4月8日  
第1号 始業式

## 妻沼西中学校をもっともっと素晴らしい学校にする

校長 清水 利浩



新3年生、2年生の皆さん、進級おめでとう。始業式にあたり、私から皆さんにお話をします。それは、妻沼西中学校をもっともっと素晴らしい学校にしていこう、そのために「感受性を研ぎ澄ませ」ということです。2週間前の修了式で話したことの続きです。私たちが、「正しい判断力とたくましい実践力」を身に付けるにあたり、一人一人がもっているアナログ的な素晴らしい大切な領域までも、インターネットやSNS、AIの回答だけに頼ってしまわないようにしな

ければならない。「感受性」を研ぎ澄ませることを、ふだんから大切にしていけることを強く願うという話をしました。

詩人 茨木のり子さんの「自分の感受性くらい」という詩を紹介します。この詩は、茨木さん本人が、自分に向かって発言し、自分自身に喝をいれたものだそうです。

自分の感受性くらい  
 ばさばさに乾いてゆく心を  
 ひとのせいにはするな  
 みずから水やりを怠って置いて  
 気難しくなってきたのを  
 友人のせいにはするな  
 しなやかさを失ったのはどちらなの  
 か  
 苛立つのを  
 近親のせいにはするな  
 なにもかも下手だったのはわたくし  
 初心消えかかるのを  
 暮らしのせいにはするな  
 そもそもが ひよわな志しにすぎな  
 かった  
 駄目なことの一切を  
 時代のせいにはするな  
 わずかに光る尊厳の放棄  
 自分の感受性くらい  
 自分で守れ  
 ばかものよ

私は、この詩の一言一言に心を打たれました。特に「自分の感受性くらい、自分で守れ、ばかものよ」。この厳しくも、愛を感じられる言葉が、今日、始業式として新しい歩みを始める君たちに、一つのインパクトになってくれればと願います。君たちは、ある時は、子どもとして優しく守ってもらえます。しかし、ある時は、大人と同じように、自分の責任と受け止めていかねばならないのです。始業式式辞として、ちょっと厳しいお話となったのかもしれませんが、しかし、これくらいの覚悟をもって、この一年を頑張っていきましょう。歴史と伝統を誇る妻沼西中学校の生徒として、遠慮することなく頑張っていくことを期待します。

<参考文献> 「永遠の詩 茨木のり子」小学館 2009.11.30 発行

茨木のり子さんの本は、図書室の前の棚にしばらく置いておきます。他の詩も含めて、手に取ってみてください。

# 学校生活の様子



## 【部活動顔合わせ】

新しい顧問の先生の紹介がありました。写真は、生徒会長が転入してきた先生方へ歓迎の言葉を話しているところです。



## 【春休みの部活動】

新しい顧問の先生と部活動を行いました。よい汗をたくさん流して充実した部活になりました。



## 【クラス発表】

2年生、3年生のクラス発表の様子です。みんな新しいクラスに期待と歓声があがっていました。



## 【始業式】

令和8年度がスタートしました。進級して立派な態度で始業式に臨むことができました。



## 【学級開き】

新しいクラスがスタートしました。新しいクラス、そして担任の先生。みんな笑顔で溢れていました。



## 【入学式】

71名の新生が入学しました。3年間よろしくお願いします！

※是非、妻沼西中学校ホームページをご覧ください。  
右のQRコードから見るができます。

